

気づき、考え、実行する さし人つうしん

唐津市立佐志小学校
学校だよりNO.24
令和4年1月18日
文責：校長 松野克己

今年もよろしく お願ひします

2022年(令和4年)がスタートしました。菅官房長官が新元号「令和」を掲げたのがついこの前のように思います。改めて月日の過ぎ去る速さを痛感しています。

3学期も2学期同様、コロナに振り回されるスタートとなってしまいました。県内での新規コロナ感染者数が先月はほとんど

ゼロだったので、3学期の行事などは通常に近いやり方に戻せるのではないかと期待をしていたのですが、もろくもその期待は崩れました。新年になり、感染力の強いオミクロン株のコロナが猛威を振るい、特に唐津市は爆発的に感染者が増えました。近隣の学校でも感染者や濃厚接触者が出ているようで、学校にも日々緊張感が漂っています。とにかく感染防止のさらなる徹底に努めますし、行事等も再検討した上で実施していきます。ただ、今の感染拡大の状況では、中止や縮小はやむなしと考えています。中でも残念なのが卒業関係の行事であり、6年生を送る会はビデオ録画、卒業式も来賓の出席は自粛をお願いし、在校生も5年生のみの参加、保護者の人数制限も行います。先の見通しが持てない状況でのスタートとなりましたが、今年度もよろしくお願ひいたします。



虹ノ松原を学ぼう



1月13日(金)に2年生が唐津の誇る名勝地である虹ノ松原について学習しました。虹ノ松原の環境保全に取り組んでいらっしゃるNPO法人のKANNE(かね)事務局長の藤田さんに来ていただき、虹ノ松原の歴史や役割などを学びました。ご存じの通り、虹ノ松原はその環境整備が課題となっています。特に問題なのは、本来「白砂青松」であった砂浜に松葉などが蓄積し、それによって雑草や他の樹木が増えていること。かまどのたき付けなどで人々が生活のために松葉を拾い集めていた昔と違い、今は意図的に松原再生や保全を行わなければ環境が維持できないそうです。この学習は3年生も行い、今後それぞれの学年が虹ノ松原で松葉かきや除草作業の体験を行う予定です。

前号でもご紹介していたように、3学期、子供たちに意識して欲しい3つのことを3学期のキャッチフレーズとして始業式でお話しました。また、意識して過ごしてもらいたいという思いで、右のような掲示物を作成し、児童玄関前や各教室に掲示しました。コロナの感染拡大もあり、健康保持は意識して欲しいことです。また、学年末ということでやる気をもって学んで欲しい、さらに、友達を思いやって仲良く過ごして欲しいという願いを込めています。自分を大切にすることと自己中心的な言動をすることは異なります。年齢に関係なく、社会の一員として生きていくために、この思いやりは絶対欠かせないと思っています。【今回は表面のみです。】

